

VP-7662A仕様

出力信号	出力レベル設定範囲 / 分解能 (開放端)	0.000~0.999 Vp-p/0.001 Vp-p ステップ 1.00~9.99 Vp-p/0.01 Vp-p ステップ	RDS信号	機能	エラー測定・復調データのデータ入力
	設定精度	±10% (≧0.1 Vp-p)		レベル範囲	0.5~5 Vp-p
サブキャリア同期	出力インピーダンス	75 Ω ±5%	RDS信号	機能	エラー測定・復調データのデータ入力
	同期モード	内部/外部		レベル範囲	0.5~5 Vp-p
	周波数範囲	19 kHz ±10 Hz		入力インピーダンス	10 kΩ ±10%
	レベル範囲	0.5~2 Vrms		システム	EBU
内部データ	位相可変範囲	±30°以上	S K信号	周波数/位相差	57 kHz ±6 Hz/0° ±10°
	位相可変設定範囲	-128~+127		出力レベル範囲	0.0~9.9% ±1%
エラー測定	外部入力インピーダンス	10 kΩ ±10%	A R I信号	設定分解能	0.1% ステップ
	機能	出力データと復調データのビット比較からエラー率算出		周波数	125 Hz (57 kHz/456)
復調データ再生	周波数	57 kHz ±6 Hz 内部同期	D K信号	AM変調度範囲/精度	0~39% / ±5%
	位相	0°または90°		設定分解能	1% ステップ
RDS信号	出力レベル範囲	0.00~9.99%	B K信号	周波数A/B/C/D/E/F	23.75/28.27/34.93/39.58/45.67/53.98 Hz
	設定分解能	0.01%ステップ		AM変調度範囲/精度	0~79% / ±5%
エラー発生論理	設定精度	±1% 9.99 Vp-pで	付加機能	設定分解能	1% ステップ
	パターン数	32		プリセットメモリー	100通り
最大パターン長	最大パターン長	2048グループ(パターン合計14,336グループ)	RS-232-C	ボーレート	1200/2400/4800/9600 bps
	エラーパターン数	64		キャラクタ長	7/8 bit
エラー発生論理	エラー発生論理	指定ビットの強制LOW/強制HIGH/論理反転	GP-IB	パリティ	OFF/EVEN/ODD
	機能	出力データと復調データのビット比較からエラー率算出		フロー制御	X-OFF/X-ON
測定時間	測定時間	1/2/3/5/10/20/30秒/1/2/3分	EXT I/O	ストップビット	1 bit
	機能	復調データをセーブし出力信号として再生		電源	100 V ±10%, 50/60 Hz, 約60 VA
セーブデータ量	セーブデータ量	最大4096グループ	大きさ/質量	W 426 × H 99 × D 400mm 約8.5 kg	

標準信号発生器

AMステレオ/FMステレオ変調信号搭載

FMステレオ変調信号搭載

高機能スタンダード

VP-8122A ¥980,000 (税別)

VP-8121A ¥880,000 (税別)

VP-8120A ¥750,000 (税別)



- 広帯域280MHz、19dbmの高出力
- 周波数セトリングタイム 70ms以下の高速レスポンス
- 非高調波スプリアス -60dbc

- ステレオ分離度 60db以上
- 7種類の単位表示、オートシーケンス機能
- 8桁の高分解能、アッテネータ設定0.1dB

- 本カタログに掲載してあります商品の価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際、消費税が付加されますのでご承知をお願いします。
- 本カタログ記載の仕様、デザイン、大きさ、価格等は性能改善のため予告なく変更させていただくことがあります。



設備の先取り 確かな経営 ナショナルリース お求めには手軽なリースをご利用ください。

●お問い合わせは……

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社
電子計測事業部

〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
☎ 横浜045(531)1231(代表)

このカタログの記載内容は
1994年1月31日現在のものです。

●製品の色は印刷物ですので実際の色と多少異なる場合があります。

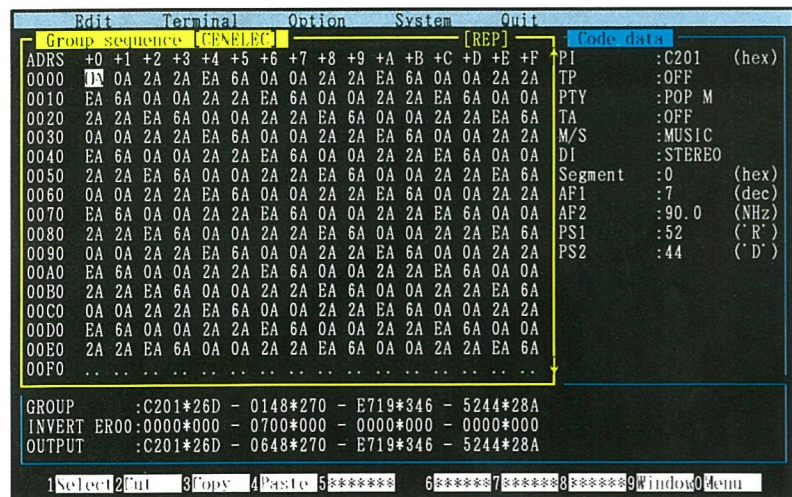
RDS/RBDSエンコーダ

VP-7662A ¥598,000 (税別) GP-IB RS-232-C

RDS/RBDS/ARI、データセーブ機能・エラーレート測定機能。



EON機能内蔵、バーストデータ挿入もシンプル。

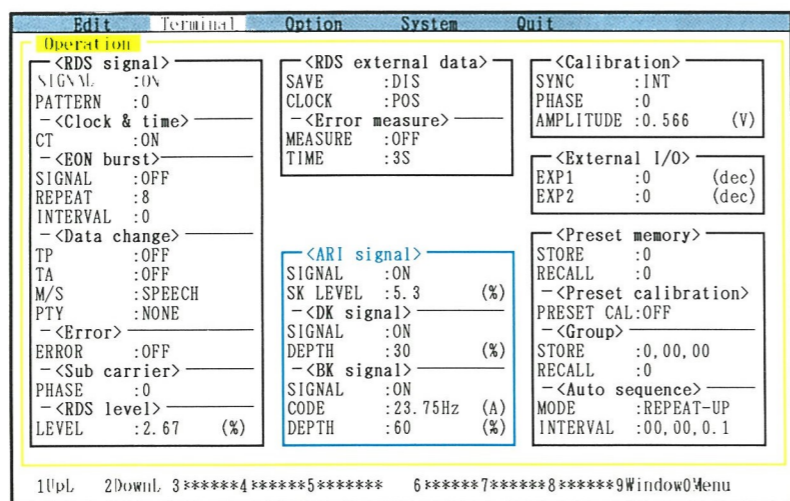


RDS/RBDS
データエディタモード

VP-7662Aは最大32パターンのデータを内部メモリーに保持することができます。RDS/RBDSのデータは、NEC PC用及びIBM PC用に対応する便利な「データエディタプログラム」を標準装備。パーソナルコンピュータ上で編集し、本体内にダウンロードして使用します。データエディタではグループシーケンスデータやコードデータを入力することにより自動的にチェックワードを生成し、RDS/RBDSデータを構築する特徴をもっています。

データエディタを標準装備、パターン設定もシンプル操作

パネルリモート
コントロール機能も充実



パネルリモートコントロールモード

GP-IBによるVP-7662Aパネルのリモートコントロール機能に加え、標準装備の「データエディタプログラム」にはRS-232-Cによるリモートコントロール機能も内蔵しました。データセーブ機能によるオンエアデータの受信、他RDSエンコーダなどからのデータのセーブ、さらにはセーブデータの編集にも大変便利な機能です。

特長

- 1 欧州方式(CENELEC EN50067)及び米国方式(NRSC/NAB)の両方式に対応します。
- 2 データ作成に便利なデータエディタ(NEC・IBM/PC用)を標準装備しています。
- 3 データセーブ機能により外部データを最大4kグループまでセーブし編集ができます。
- 4 エラーレート測定機能を内蔵、受信データのビットエラー評価が簡単にできます。
- 5 データは32パターン、最大2kグループを内部メモリーに保持できます。
- 6 従来のARI信号発生器も内蔵しました。
- 7 ICなど電子部品の試験用に役立つよう最大9.99Vp-pを出力します。

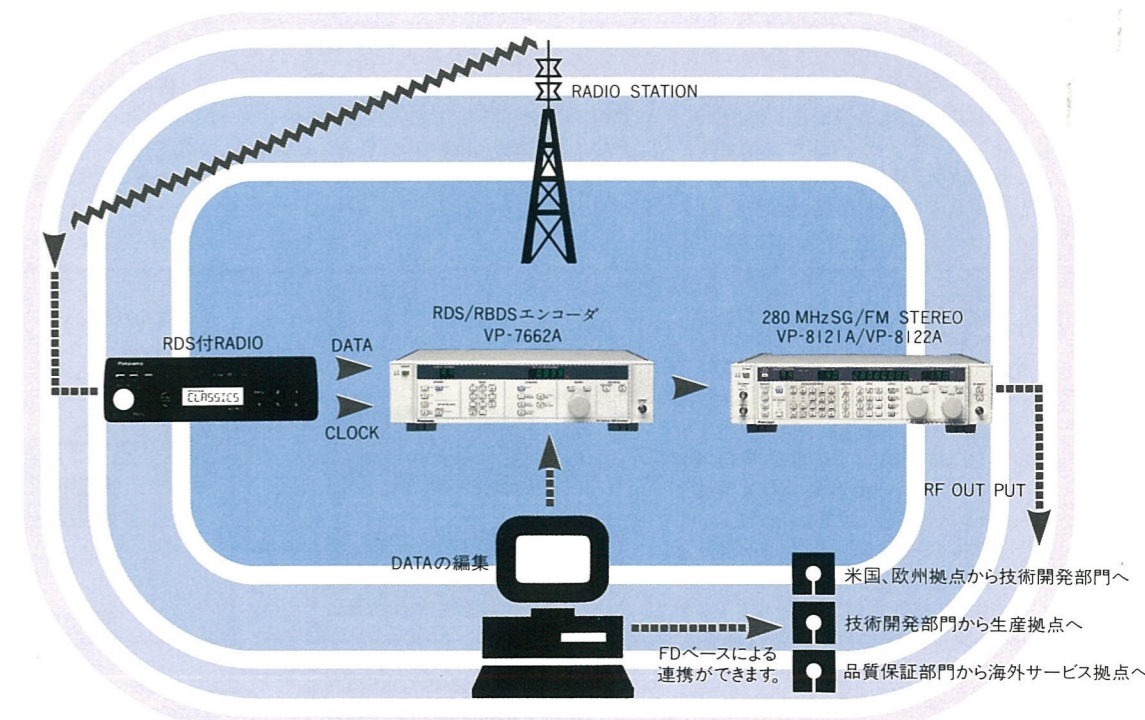
概要

VP-7662Aは、CENELEC規格(EN50067)に基づいたRDS信号と米国NRSC/NAB規格によるRBDS信号を発生します。また、欧州で従来より放送されているARI方式信号発生器も内蔵していますから、当社FMステレオモジュレータ付SG、VP-8121A/8122Aなどと接続し簡単に使用できます。新しい機能として、VP-7662Aには、復調されたオンエアデータを取り込み、出力信号として再生する機能や、復調データの誤り率測定機能を装備しました。RDS/RBDSデータは、当社「データエディタプログラム」により、RS-232-Cインタフェースを介して対話方式で簡単に作成できます。

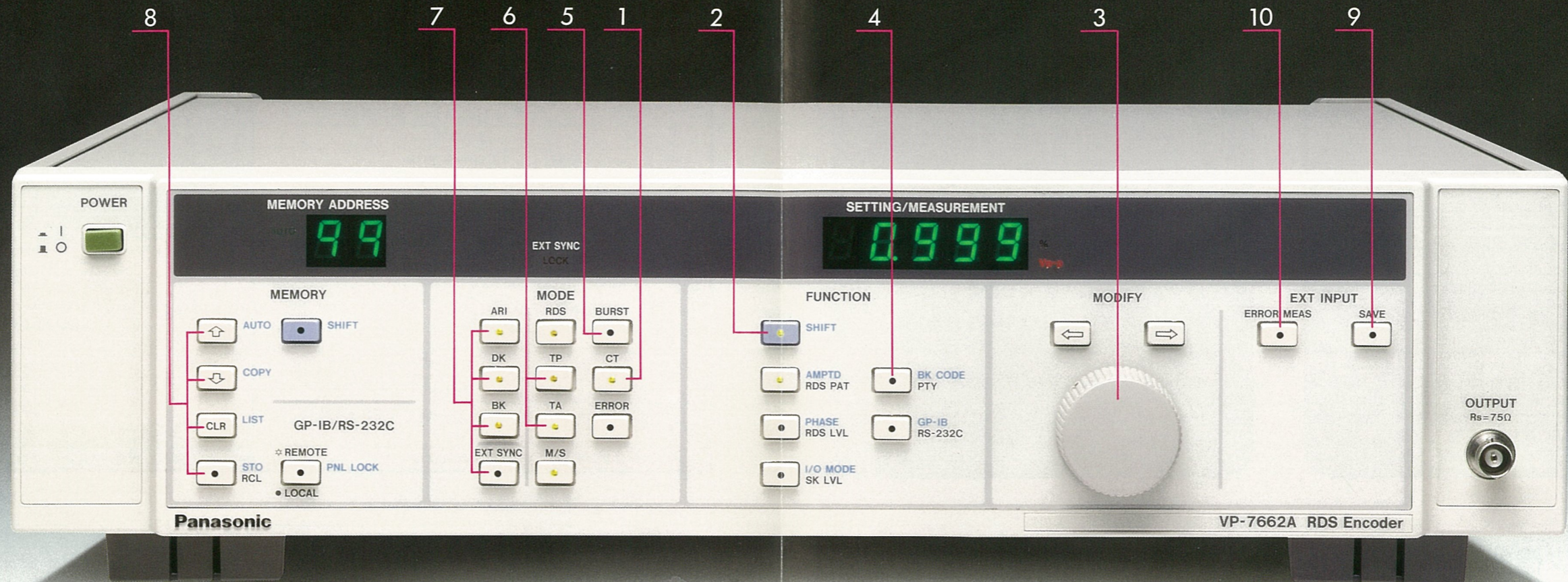
オンエアデータを活用できる

データセーブ機能

VP-7662Aは、復調されたデータとクロック信号により、最大4kグループのデータをセーブできます。この機能は、実際にオンエアされているRDS/RBDS信号を、ラジオ受信機で復調した出力をセーブすることができますから、実際の状態に近い試験を行うことができます。また従来のRDSモジュレータやエンコーダのデータも復調器を介しVP-7662Aにセーブ編集が可能ですから大変便利です。



32パターン、2kグループのRDS/RBDSデータを内蔵、パネルキーによる信号制御も簡単。



シンプル操作でRDS/RBDS、ARI機能を制御します。

デジタル多重信号の計測を充実しました。

TP/TA 設定機能 ⑥

パターンデータによるTP/TAの設定だけでなく、パネルキーにより独自に設定します。TPスイッチとTAスイッチを切り替えて交通情報認識動作の確認が簡単にできます。

CT 設定機能 ①

パターンデータによるCT設定の他、パネルキーのCTをONに設定すると本体はCTコード(タイプ4A)を1分おきに自動挿入します。

PTY 設定機能 ④③

パターンデータによるPTYの設定だけでなく、パネルキースイッチにより簡単に切り替えることができます。モディファイノブを切り替えることにより、32種類のPTY表示を設定します。

データパターン 選択機能 ②③

32種類のパターンをPCで作成しセーブします。EON機能に対応した2048グループの大きなプログラムエリアを持っています。パネルからのパターン選択はモディファイノブで切り替えます。

データセーブ 機能 ⑨

リアーパネルのデータとクロック入力に外部からの復調データ信号を加えると、最大4096グループのデータをVP-7662Aにセーブします。このデータはエンコーダのパターン選択をEXTに切り替えると、そのままRDS/RBDS信号として出力できます。また、セーブしたデータはPCで編集し必要な部分をパターンとして、目的のパターン番号にロードすることができます。

エラーレート 測定 ⑩

VP-7662Aの出力データと被測定物からの入力データを比較し、1秒~3分の指定時間におけるビットエラー発生率を測定表示します。データの比較はインフォメーションワード(1グループ64ビット)内エラーについて測定し、表示はエラービット数と総ビット数との比を3桁の仮数部と1桁の指数で表示します。

バースト 挿入機能 ⑤

EONに対応したバースト挿入をパネルから制御できます。エディタで編集したフォーマットにしたがったデータの挿入を実行します。

ARI 信号発生部 ⑦

従来の交通情報システムであるARI信号を設定できます。設定項目は、ARI信号のON/OFF、SK信号レベル、DK信号のON/OFF、BK信号のON/OFFとコード選択などです。

レベルコントロール 機能 ②③

標準のRDS/RBDS信号レベルだけでなく自由に信号レベルをコントロールしますから、ICなど部品ベースのテストを行うことができます。出力レベル:0.000~0.999 Vp-p /1.00~9.99 Vp-p
RDSレベル比:0.00~9.99 %
ARI信号レベル比:0.0~9.9 %
サブキャリア位相:-128~+127

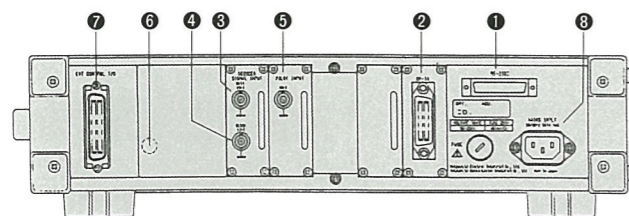
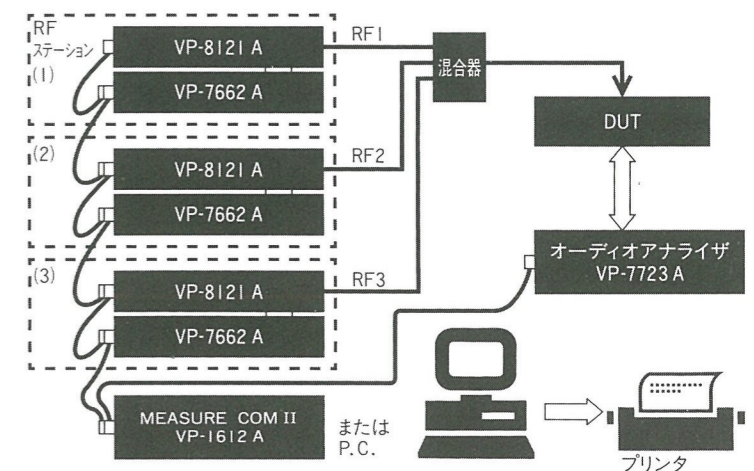
パネルメモリー 機能 ⑧

100種類のパネルコンディションを記憶、UP/DOWNによる切り替えやグループによる設定ができます。さらにパナソニック共通のI/Oで外部からの切り替えや、他の機器とアドレスを同期させて小型システムとして使用することができます。便利な特徴があります。

EON 機能テストシステム

280 MHz帯シンセサイズド信号発生器VP-8121A(FMステレオ変調器搭載)やVP-8122A(AMステレオ/FMステレオ変調器搭載)とエンコーダを組み合わせ、EON機能テストシステムを構築することができます。特にVP-8120シリーズは70 ms以下の高速セトリングタイムで周波数や出力レベルをコントロールしますから、被測定物である受信機のテストをオンエア状態に近い環境でテストすることができます。

EON機能テストシステムの構成



背面パネル

- ① RS-232-Cコネクタ
- ② GP-IBコネクタ
- ③ データ入力端子
- ④ クロック入力端子
- ⑤ 19 kHz外部出力端子
- ⑥ 信号出力端子(オプション)
- ⑦ EXT I/O
- ⑧ ACコネクタ